



# 消防千葉

2017 No.556 平成29年10月号

---

平成29年10月1日 編集兼発行人  
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内  
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅  
TEL043(263)9885  
郵便番号 260-0801  
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>  
メールアドレス [chisyokai@bz04.plala.or.jp](mailto:chisyokai@bz04.plala.or.jp)

---



旧宇田川家住宅（浦安市）東葛飾支部

## 巻 頭 言

## 「安全で安心して暮らせるまちづくり」

香取広域市町村圏事務組合消防本部 消防長 篠塚 功明



香取広域市町村圏事務組合消防本部は、千葉県北東部に位置しており、北は日本最大の流域面積をもつ利根川を挟んで茨城県と接しています。地形的には香取市を中心に低地部と台地部で占められていることから田畑に適しており、農業が主な基幹産業となっています。

消防本部のある香取市佐原は、古くから利根川水運の中継基地として栄えた場所で、北総の小江戸「佐原」と言われるほど、現在でも小野川沿いを中心に古い商家が立ち並び、水郷の情緒を醸している歴史的景観、また、それを生かしたまちづくりの取り組みが認められ、平成8年に関東で初めての重要伝統的建造物群保存地区に選定された観光名所です。更に、平成28年12月にはその歴史的町並みの中を夏と秋に山車を引き廻す「佐原の大祭・山車行事」がユネスコ無形文化遺産に登録され、香取市全体の魅力を国内外へ発信する機会を頂き、地域振興につながるものと大変期待しております。

さて、当消防本部は、平成18年3月27日の市町村合併に伴い、佐原市外五町消防組合ならびに小見川町外2町消防組合の2消防本部が広域市町村圏事務組合に統合再編され11年を経過したところでございます。

現組織は管内1市2町、人口107,966人、面積381平方km、消防吏員数208人、1本部、2署、3分署、1分遣所、1出張所体制で地域防災に当たっております。

東日本大震災により、防災拠点としての機能を失ってしまった佐原消防署も、平成26年4月に消防本部と消防署を併設した耐震構造の新庁舎が完成し、地域住民の避難等、被災時に拠点としての機能を備えた庁舎となっております。

今後も構成市町のご理解・ご協力をいただきながら、防災拠点となるべき管内の庁舎について、整備をする方向で検討をしているところでございます。

このほか、全国的に年々出動件数が増加している救急業務において、当組合管内の医療機関でも、医師不足による診療機能の低下や時間外救急患者の受け入れが脆弱しており、やむなく管外医療機関へ搬送されている現況であります。

このような状況の中、将来的に高齢者人口の増加に伴い、救急車の利用も更に増加することが予想されることから、今後も市・消防・地域医療機関が連携、情報を共有し、救急搬送体制の強化を図り、更に市民等へ応急手当を普及促進するとともに、救急車の適正利用の啓発に努め、市民の安全・安心を守るため地域救急医療体制の更なる充実を推進して行きたいと考えております。



# 第38回九都県市合同防災訓練(千葉県会場) 「そうさ記念公園」で実施！

県では、防災関係機関の災害対策の充実強化と県民の防災意識の高揚を図るため、大規模な地震の発生を想定し、第38回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）を8月26日（土）に匝瑳市において実施しました。

## 訓練概要

### 1 実施日時・場所

日 時 平成29年8月26日（土）9：00～12：30

場 所 そうさ記念公園  
（匝瑳市八日市場ハ565番地1）ほか

### 2 主 催

千葉県、匝瑳市、公益財団法人千葉県消防協会

### 3 訓練規模

- (1) 参加機関 111機関  
県・市のほか、自衛隊、警察、消防機関、医療関係団体、ボランティア団体 等
- (2) 参加人員 約5,000人

### 4 訓練想定

千葉県東方沖を震源とする大きな地震が発生し、匝瑳市では震度6強を記録するとともに建物倒壊や道路損壊が多数発生し、ライフライン機能も麻痺している。また、沿岸部では津波襲来の恐れも生じている。

この地震により多数の家屋が被災し、住民は避難所での生活を余儀なくされる。

### 5 今回の訓練の特徴

- (1) 「自助」・「共助」・「公助」の連携強化を図る訓練の実施
- (2) 住民の防災意識や能力を高める訓練の実施
- (3) 地域の特性に合わせた訓練の実施
- (4) 熊本地震などの課題を意識した訓練の実施



森田知事挨拶



太田匝瑳市長挨拶



石橋消防協会長挨拶

### 6 主な訓練項目

(1) 実動訓練

- ・ 倒壊建物や被災車両等からの被災者の救出救助など
- ・ 応急救護所の設置、傷病者のトリアージなどの医療救護など
- ・ 地震発生後、迅速な津波避難行動など

(2) 避難所運営訓練

- ・ 自主防災組織が中心となった避難所の運営など

(3) ボランティアセンター運営訓練

- ・ 被災地における災害ボランティアセンターの運営・支援など

(4) 多数遺体取扱訓練

- ・ 遺体安置所の設営や検視（死）・検案、身元確認及び遺族対応など

(5) 防災フェア

- ・ 防災に関する展示や実験、体験学習など



森田知事巡視



津波避難／地震発生直後の住民避難など



救出救助／被災車両からの人命救助など



救命救助／被災車両からの人命救助など



救出救助／倒壊建物からの人命救助など





医療救護／傷病者のトリアージ活動など



生活支援／救援物資の輸送など



避難所運営訓練／自主防災組織による運営など



ボラセン運営訓練／被災地での運営・支援など



多数遺体取扱訓練／検視（死）・検案など



防災フェア／防災体験・教育・啓発など



## 平成29年度 千葉県石油コンビナート等防災訓練の実施

「第38回九都県市合同防災訓練実施大綱」及び「千葉県石油コンビナート等防災計画」に基づき、南関東地域における地震に備えて特定事業所、共同防災組織が主体となり発災対応型訓練を実施することにより、災害応急対策の整備・運用の充実を図るとともに、特定事業所、共同防災組織及び防災関係機関相互の応援体制の確立に資するため、平成29年8月9日(水)午後2時から4時までJFEケミカルズ株式会社東日本製造所千葉工場生浜分工場及び周辺海域において石油コンビナート等防災訓練が実施されました。



訓練は千葉県石油コンビナート等防災本部が主唱し、千葉県、千葉市、市原市、袖ヶ浦市、京葉臨海中部地区石油コンビナート等特別防災区域協議会、千葉地区石油コンビナート等特別防災区域協議会が主催したもので、千葉県や千葉海上保安部など16機関から約200名が参加しました。



陸上訓練は相模トラフにおける地震が発生し、千葉市内において震度6強を記録する。海上訓練は千葉県東方沖を震源とする余震が発生し、粗製ベンゼンの流出、作業員が誤って海中に転落したと想定し、次の訓練を実施しました。

### 1 陸上訓練

- ①初期対応訓練
- ②発見・通報訓練
- ③現地指揮所設置訓練
- ④立入禁止区域設定訓練
- ⑤土嚢構築訓練
- ⑥航空情報伝達訓練
- ⑦救出救護訓練
- ⑧コンビナート火災対応訓練 等



### 2 海上訓練

- ①事業所初動対応訓練
- ②ガス検知・規制ライン設置訓練
- ③吸着マット展張訓練
- ④除染訓練
- ⑤災害周知訓練
- ⑥海上ガス検知訓練
- ⑦海中転落者救助訓練
- ⑧放水制御・攪拌訓練 等





## 第164期 消防職員初任科生卒業式

### 千葉県消防学校

平成29年9月13日(水)、千葉県消防学校の消防職員初任科第164期の卒業式が行われました。4月の入学から6ヶ月、29所属136名の若々しい消防職員が厳しい研修を終了し、消火・救急救助知識及び技術を習得し、それぞれの職場に戻り、第一線で活躍することになります。

当日は、開式のことば、国歌斉唱の後、各人が緊張した面持ちで卒業証書の授与を受け、最優秀賞1名、優秀賞13名、努力賞9名の表彰が行われ、淡路千葉県消防学校長の告示、千葉県知事(代理横山防災危機管理部長)・千葉県消防協会長(代理齊藤専務理事)等の祝辞がありました。



淡路学校長告示



知事代理(横山防災危機管理部長)祝辞



会長代理(齊藤専務)祝辞

また、前日の12日(火)には、教育訓練の成果を確認するために10時から消防学校屋外訓練場において「実科査閲」が行われました。学生集合、通常点検、小隊訓練、体力向上体操、救急訓練、救助訓練、最後には災害防ぎょ活動の部隊行動を基本に、救出訓練と一斉放水訓練を実施し、初任科で習得した消防活動・救急活動の集大成として、全員により、火災防御・救急救助技術を披露しました。





## 第23回 全国女性消防操法大会 千葉県代表(柏市女性消防隊)激励会

平成29年9月5日(火) 午前11時から千葉県本庁舎5階大会議室で、県主催による第23回全国女性消防操法大会千葉県代表激励会が開催されました。

女性の消防隊の消防技術向上と士気高揚を図り、もって地域における消防活動の充実に寄与することを目的として、平成29年9月30日(土)、秋田県秋田市の向浜運動広場(こまちスタジアム)駐車場で開催されます。「第23回全国



女性消防操法大会」に、「柏市女性消防隊」が出場するに当たり、活躍を祈念し、激励を行うとともに、高橋副知事から小田山柏市消防団長へのぼり旗の交付を行いました。





## わが町の消防団 ① 浦安市消防団

浦安市は、東京湾の最奥部、千葉県西北部に位置し、北は市川市、西は旧江戸川を隔てて東京都江戸川区、東と南は東京湾に面し、東京ディズニーランド・ディズニーシーをはじめ、周辺施設には多くの観光客が訪れ、国際色豊かなまちとして発展を続けています。



本市の消防団は、平成29年4月1日現在、平林団長以下144名（内女性団員41名）の3個分団で構成されており、9台の消防ポンプ自動車（CD-I型）を配備し活動をしています。

全国的に消防団員の確保が困難な中、本市の消防団につきましても、全団員で様々な入

団促進活動に取り組んでいますが、女性団員の活発な入団促進活動は飛躍的に入団者数が増加し効果を得ています。自分たちが興味を持ち、楽しめる活動を重視した大幅な活動の見直しや、活動を積極的にアピールするため、フェイスブックや地域情報誌を活用した情報発信等を実施し、わずか3年で21名の増員を達成しました。

男性団員は伝統を受継ぎながら、火災等の災害を想定した実践訓練、操法訓練、近年多発する台風等の豪雨に対する水防訓練、平成27年度に導入した救助資機材取扱訓練などを定期的に行い、本市の安全・安心を担っています。平成29年7月22日に開催されました第53回千葉県消防操法大会では優秀賞を受賞し、近年の大会では常に上位入賞を果たしています。また、平成23年4月に消防団OB58名により発足した消防団支援隊も、平成28年度に第2期支援隊（37名）を結成し、火災出動を中心に現役団員のバックアップを担っています。



将来の地域防災の担い手育成を目的として、平成24年4月に発足した少年消防団は、今年度で第6期生を迎え、市広報紙及びホームページ等に活動を掲載し広く市民に周知されています。消防団員が中心となり指導を行い、活動では「少年消防団員でしかできないこと」を重視し、児童や保護者の支持を得て、毎年定員を超える応募をいただいています。この活動を通し保護者から消防団に入団した団員もあり、将来は少年消防団の卒団者から消防団への入団も期待しています。



今後も、本市の基本目標である「人が輝き躍動するまち・浦安」をめざすとともに、市民の安全・安心を守るため、消防体制のさらなる充実・強化に努めてまいります。



## わが町の消防団 ② 勝浦市消防団



勝浦市は、千葉県の南東部、南房総国立公園の中に位置し、都心から約75キロメートル圏内に立地しています。市域は黒潮の北上する太平洋岸に面し、古くから漁業により栄え、カツオ・イセエビの水揚げ量は全国一位の漁獲高を獲得したこともあり全国トップクラスです。

美しい砂浜とリアス式海岸と丘陵性山地を併せ持ち、表情豊かなハーモニーを奏でています。天正年間より400年余の歴史を誇る朝市は、岐阜の高山、石川の輪島と並んで日本三大朝市と称されており、里海と里山の豊富な産物が集まり、観光名所として多くの観光客で賑わい、また市民の台所としても親しまれています。

最近では、本市消防団の分団長も参加している勝浦タンタンメン船団が、平成27年のB-1グランプリin十和田でゴールドグランプリを受賞しました。勝浦タンタンメンは、醤油ベースのラー油が多く使われたタンタンメンで、当地の海女さん・漁師さんが寒い海仕事の後に、冷えた体を温めるメニューとして定着しました。現在では多くの店舗でそれぞれの特色を生かしたメニューが提供されています。



このような当地の消防団員396名を束ねる渡邊団長のモットーは、『楽しい消防団』。平時には、団員同士、分団同士楽しみながら交流し絆を深め、有事の際は一致団結し事態に対応する。

日頃の警防活動としては、火災予防週間、歳末特別警戒や気象警報発表時のパトロール警戒だけでなく、平時より風が強い日に夜間パトロールを積極的に行うなど地域住民の安全と安心を守るため、日夜熱心に活動しています。また、女性消防団の指導による自主防災組織への水消火器による初期消火訓練を行うなど自らの力で災害を防ぐ自助の心構えを広めています。



我々勝浦市消防団は、今後も先輩諸氏より受け継いだ伝統を守りつつ歴史ある美しい勝浦を守るために団をあげて邁進していきたいと考えております。

11月4日（土）には、勝浦タンタンメン船団も出店する『かつうら魅力市』が開催されますのでぜひお越しください。



# 東 西 南 北

## 東 西 南 北 第4回救急活動想定訓練競技会 船橋市消防局

船橋市消防局では、平成29年7月12日（水）、13日（木）、14日（金）の3日間、特別救急隊を除く救急隊延べ39隊（救急隊員117名）による第4回救急活動想定訓練競技会を開催いたしました。

会を開催いたしました。

この競技会は、救急隊員のモチベーションを上げるために競技会形式で行い、救急隊員の資質を一段と向上させるとともに、傷病者の病態に応じた質の高い病院前救護に必要な知識及び技術の習得を目指し、指導救命士を中心とした救急隊の各種訓練・教育の一環として実施しています。

例年ブライнд形式で想定を付与、各日3名の副署長・分署長が「隊活動審査票」に基づき、活動全般の流れ、接遇、隊員間の情報共有、安全管理、器具愛護の5項目について評価を実施。また、4名の指導救命士が状況評価から、観察、病態判断、処置、プロトコルに沿った特定行為の指示要請並びに実施状況、病院交渉術、病院到着後の医師引継ぎに至るまで、「救急活動評価票」に基づいて厳正に評価し、順位を決定いたしました。

当市消防局では、これからも指導救命士を核とした救急業務に携わる職員の教育・訓練等に取り組み、市民のニーズに応え、誰からも信頼される救急隊員を育成してまいりたいと考えております。



## 東 西 南 北 交通安全講習会を実施 夷隅郡市広域市町村圏事務組合 大原消防署

夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部 大原消防署では、平成29年7月5日（水）にいすみ警察署交通課長 及川竜昭氏を講師に招き「緊急自動車の法令と実務」と題して講習会を実施しました。

当消防本部で毎月行っている事故防止施策検討会とは違い、交通課長からの講話ということもあり、職員はもとより特に機関員にあっては、これから夏季シーズンを迎え交通量の増加が予想されるなかで、緊急自動車に付与されている特例事項や、緊急走行時における注意事項を詳しく解説していただき、大変貴重な講習会となりました。



## 東 西 南 北 ハラスメント防止研修を実施 千葉市消防局

千葉市消防局では平成29年7月19日（水）20日（木）の2日間に渡り、ハラスメント防止研修を実施しました。研修には、消防長を含む管理職員をはじめ、400人近くの職員が参加しました。

本研修では、公益財団法人21世紀職業財団の加藤 勝雄様をお招きし、ハラスメントの基礎知識、上記報告書の説明の他、「アンガーマネジメント」という怒りのコントロール方法などをご教授いただきました。

職員からは大変参考になったとの意見も多く、ハラスメントについて改めて考える良い機会となりました。今後は、本研修で得た知識を活かし、全職員がハラスメント防止に対する意識を向上させ、風通しのよい職場環境づくりに向け、職員一丸となって努力してまいります。





## 東西南北 少年消防クラブ研修会の開催 千葉県消防局

千葉県消防局中央消防署では、平成 29 年 7 月 27 日（木）、中央消防署管内のクラブ員を対象とした「少年消防クラブ研修会」を開催し、4 クラブ 29 名の児童及び親御さんが参加しました。

この少年消防クラブ研修会は、「助け合いの心を育むこと」を目的として幼少年期における火災・地震等の災害対応及び救命処置を学習します。県内の各防災施設に出向し、消火訓練、地震訓練、煙体験、応急救護訓練等の各種訓練を毎年開催しています。

研修後、修了証を受け取った児童から、「大切なことを学べて勉強になった！修了証がもらえて嬉しかった！」等の感想を聞くことが出来ました。



## 東西南北 「親子で学ぼう胸骨圧迫！電気ショック！」を開催 船橋市消防局

船橋市消防局では、平成 29 年 7 月 28 日（金）に夏休み特別企画として小学校 4 年生から 6 年生までの生徒とその保護者を対象に、心肺蘇生法の第一歩として、胸骨圧迫と AED の使用方法を学ぶ「親子で学ぼう 胸骨圧迫！電気ショック！」を開催いたしました。

参加した小学生は「胸を連続で強く圧迫することや、AED の使い方を覚えることは大変だった」と感想を述べながらも、講習終了時には胸骨圧迫と AED を見事に親子で協力して実践していました。

今後とも、勇気をもって行動できるバイスタンダーを増やすため、普及啓発活動に取り組んでまいりたいと考えております。



## 東西南北 表示制度における表示マーク交付式 浦安市消防本部

浦安市消防本部では、平成 29 年 8 月 1 日（火）表示制度における表示マーク交付式を行いました。表示制度とは平成 26 年度からホテル・旅館等の関係者からの申請に基づき、消防機関が審査し、消防法令のほか防火安全上、重要な建築構造等の基準に適合する場合に「銀の表示マーク」を交付する制度で、この基準に 3 年間適合すると「金の表示マーク」が交付されます。今年度、浦安市内 13 の宿泊施設が「銀の表示マーク」から「金の表示マーク」となる記念の年であることから浦安市消防本部において交付式を行いました。





## 東西南北 中学生と心肺蘇生法の重要性を広報

### 佐倉市八街市酒々井町消防組合

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防音楽隊は、平成 29 年 8 月 19 日（土）、佐倉市民音楽ホールで開催された「臼井ふるさとにぎわい祭りサマーコンサート」に佐倉市内の中学校 3 校の吹奏楽部と共に出演し、コンサートの途中に消防広報の一環として、AED を使用した心肺蘇生法に関する寸劇と実演を交えた替え歌を実施しました。

内容は、曲の合間に突然倒れた音楽隊員を、生徒 2 名と消防職員が協力して、AED を使用した心肺蘇生法を行い無事蘇生に成功するというものです。

また、プリンセスプリンセスの「Diamonds」の楽曲を使用した心肺蘇生法の替え歌（京都府立医科大学救急医療学教室講師の山畑佳篤氏作成）を、心肺蘇生法の実演を交えながら演奏するなど、来場した観客へ心肺蘇生法と AED の重要性を広報しました。



## 東西南北 救急出場減少を目的とした救急車適正利用看板の設置

### 松戸市消防局 松戸市五香消防署

松戸市は都心から 20 km 圏に位置し、さらに千葉県東葛飾地域（北西部）の一翼に位置します。松戸市五香消防署は、松戸市の中央付近を横断する県道松戸鎌ヶ谷線沿いに位置し、管轄区域には常盤平団地を抱え、人口約 6 万 8,000 人の地域です。消防署前の道路は交通量が多く、松戸市防火協会五香支部の協力のもと、年々増加傾向にある救急出場の減少を目的とした救急車適正利用の看板を車庫前に設置しました。文字の大きさ等に強弱を付け、イラストを取り入れることにより、救急車適正利用を広くアピールしています。



## 東西南北 大規模災害等における相互協力に関する覚書の締結

### 松戸市消防局

平成 29 年 8 月 28 日（月）に千葉県警察松戸警察署、千葉県警察松戸東警察署及び松戸市消防局の間で、消防組織法第 42 条第 1 項等に基づき松戸市内で発生した災害において、警察及び消防の両機関の情報共有等の協力体制を明確にし、より精度の高い連携活動を実施するために覚書を締結しました。

今後発生が危惧される大規模災害をはじめとする各種災害に対する確また迅速に対応するために連携訓練等を定期的実施し、更なる連携強化を図っていきます。





## 日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

### 平成 29年 10月

- 3日 第 165 期初任科入校式 (消防学校)
- 19日 第 53 回消防殉職者慰霊祭 (消防学校)
- 19日 消防職・消防団員定例表彰審査会 (消防協会)
- 28～29日 消防団員指導員研修 (消防学校)



平成29年度 全国統一防火標語  
**「火の用心 ことばを形に 習慣に」**

平成29年 秋季全国火災予防運動  
**平成 29年 11月 9日(木)～11月 15日(水)**

重点目標 ①住宅防火対策の推進 ②乾燥時及び強風時火災発生防止対策の推進 ③防火火災防止対策の推進 ④特定防火対象物等における防火安全対策の徹底 ⑤製品火災の発生防止に向けた取組の推進 ⑥多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底

### <表紙の説明>

#### 旧宇田川家住宅 (浦安市) 東葛飾支部

旧宇田川家住宅は明治2年に建てられた木造瓦葺一部2階建て町家づくりの民家で、建築年代がはっきりとわかるものとしては浦安市内最古のものです。

道路に面した店舗部分と裏の住宅部分からなり、米屋、油屋、雑貨屋、呉服屋などの商家として使われてきました。

幕末から明治に至る江戸近郊の町家の形をよく伝えており、商家遺構の少ない関東では特に貴重な建物であることから、昭和57年に市の有形文化財として指定されました。昭和59年からは一般公開され、体験事業や季節の展示なども行われています。

